

下風呂観光ホテル 漁火の宿 三浦屋

Shimofuro Kanko Hotel Isaribinoyado Miuraya
(青森県風間浦村)



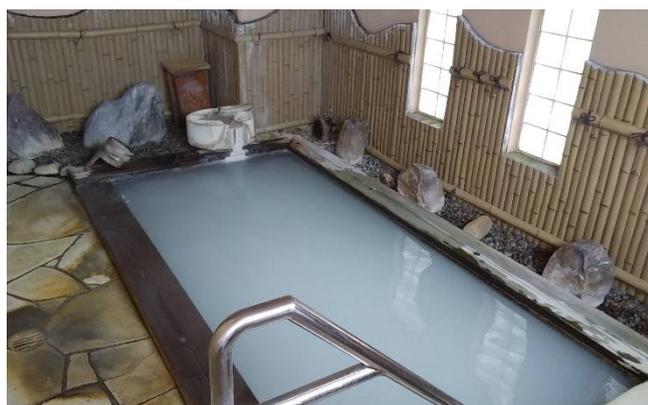
東北旅行 6 日目の本日は、日本三大霊場の一つである恐山の参拝をして地獄と天国の両方を体験し、本州最北端の大間崎で鮭トバ、ホタテ、海苔、ニシンなどの酒の肴を買い込み、下風呂温泉郷へやってきた。今回紹介するのは、下風呂観光ホテル 漁火の宿 三浦屋の風呂である。

下風呂温泉の歴史は室町時代までさかのぼる。下風呂があるのだから上風呂もあるのかと思ったらそういうわけではない。下風呂とは、アイヌ語で「シモフラ」が語源であり、「臭い岩」という意味だそうだ。温泉に含まれる硫黄の臭いがする岩を指してそう呼んだのであろうとされている。

下風呂はマグロ一本釣りで有名になった大間のすぐ近くに位置し、魚介類の美味しいところでもある。マグロの他、イカ、ウニ、タコ、ヒラメ、アワビ、カレイ、イクラなどが時期に応じて食せる。

下風呂温泉にはいくつかの宿があるが、客室からオーシャンビューを楽しめる宿はそう多くはないようである。三浦屋はその中の一つだ。オーシャンビューと言っても、夜の漁の明かり、つまり漁火を楽しめるのである。

では三浦屋の風呂を紹介しよう。風呂は地下 1 階にある。地下と言っても、海側から見たら 2 階である。従って、風呂からもオーシャンビューが楽しめる。



脱衣室には脱いだものを入れる籠が 20 個、無料で使用できる貴重品ロッカーが 12 個ある。洗面台は 3 個あり、アメニティーは石鹸、髭剃り、綿棒、ドライヤー、ヘアトニック、ローションなどがある。

浴室に入る。洗い場は 2 か所に分かれており、合計 3 か所、他にシャワーブースが 1 か所ある。洗い場にはローヤルゼリーのコンディショナー、シャンプー、ボディーソープが完備。

浴槽は内湯と露天風呂がそれぞれ 1 個ずつであり、前者が光明石の人工温泉、後者が天然温泉である。まずは前者へ。光明石の人工温泉は、ぬるめの湯で無色透明。これなら長湯が可能だ。三浦屋によれば、光明石とは天然の鉱石で、最もイオン化作用（生体活性化作用）が強いとのことだ。このため、体の芯から温まり、湯冷めしにくく、肌がつるつるになるという。他に、神経痛、リウマチ、肩こり、冷え性、腰痛、痔、疲労回復にも効くという。光明石が売っているなら、自宅にも 1 個ほしいくらいだ。

露天風呂は屋根があるので、半露天と言ったところである。湯は真っ白であり、適温。硫黄のにおいが結構強い。硫黄が多く含まれているため、腕時計を装着したまま入浴をしてはいけないらしい。

ちなみに、この天然温泉は、含硫黄－ナトリウム－塩化物泉（硫化水素型）（低張性中性高温泉）であり、筋肉または関節の慢性的な痛みまたはこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺にお

ける筋肉のこわばり、冷え性、抹消循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息または肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症、きりきず、皮膚乾燥症などに効くという。

夜は魚介類、漁火、日本酒、肴で時間が過ぎていった。極楽である。

取材レポート

DATA

名称	下風呂観光ホテル 漁火の宿 三浦屋
所在地	青森県下北郡風間浦村下風呂 70
電話	0175-36-2311
営業時間	日帰り 13:00~15:00 18:30~21:00 宿泊者 23:00~5:00 以外
定休日	無休
入浴料	日帰り 600円 (13:00~15:00)、700円 (18:30~21:00) 宿泊者 無料
サウナ	あり (コロナ対策のため使用不可)
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2020年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	釜臥山スキー場